

## 行政報告の主な内容（7課22項目）

(1) 総務課	執行体制について
	国の栄典関係について
	定額給付金等の支給状況について
	第5次総合計画について
	当初予算説明書の発行について
	広域行政関係について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	新型インフルエンザ対策について
(3) 町民生活課	自治基本条例について
	町税等の収納対策について
	合併浄化槽設置事業について
	クリーンセンターダイオキシン測定について
	ゴミゼロキャンペーンについて
(4) 産業振興課	農作物の育成状況について
	(降霜被害について)
	ビールオーナ制度について
	地元食材による駅弁販売について
(5) 建設水道課	建設産業安全大会について
	日の出公園整備について
	(日の出公園臨時駐車場の対応について)
	花と緑のまちづくりについて
(6) 町立病院	町立病院の運営状況について
(7) 教育振興課	上富良野高校の現況について
(8) 総務課	建設工事の発注状況について

# 行政報告

(平成21年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

## (総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、本年度4月からの執行体制であります。職員数については昨年度中の定年退職者など7名の欠員に対し事務職3名の採用にとどめ、201名による執行体制としたところであります。

また、行政執行機関である農業委員会の事務局体制を再構築するため、専任の事務局長を含めた職員2名を配置するとともに、市街地公園の整備を本年度集中的に行うために専任の公園整備担当課長1名を配置し、組織の補完的見直しを図ったところであります。

今後とも、町民の皆様と協働のまちづくりをすすめるため、適宜組織内の見直しを加え、町民との信頼関係の構築につなげてまいりたいと考えています。

次に、国の栄典関係であります。4月29日発令の危険業務従事者叙勲において、  
ずいほうそうこうしょう 瑞宝双光章 に防衛功勞として はやさかよしはる 早坂吉春氏、まえ だくにあき 前多邦昭氏、ずいほうたんこうしょう 瑞宝単光章 に防衛功勞  
として こはた たけし 木幡 武氏、さ さ き み ち よ し 佐々木三千吉氏、せ き か ず お 関 和男氏、た だ ま さ と 多田正人氏、た だ こ ろ か つ や 田所勝也氏、ひ ら ま た か と し 平間高敏  
氏、もちつきかずゆき 望月和行氏が受賞されました。

改めて受章されました皆様のこれまでの功績に心から敬意を表するものであります。

次に、定額給付金の支給状況についてであります。3月上旬に対象となる5千388世帯へ関係書類を送付し、3月16日から申請受付を開始いたしました。平成20年度中については約55%の3千2世帯へ約1億2千万円を支給し、6月12現在においては全体の約97%にあたる5千210世帯の申請を受付し、うち5千180世帯へ総額約1億8千4百万円の支給を終えております。

また子育て応援特別手当についても、同様に175世帯へ送付し、平成20年度中に約76%の133世帯へ約490万円を支給し、6月3日をもって対象全世帯の申請を受け付け、6月17日の最終振込みにより対象全世帯に総額644万4千円の支給を終えることとなります。

今後も、未申請の方に対しましては、広報等を活用し申請勧奨を進めてまいります。

### （総務課行政報告【企画財政班関係】）

次に、第5次総合計画についてであります。議会をはじめ、多くの町民の皆様のご意見を賜りながら策定した「同計画」が、いよいよスタートを迎え、そのダイジェスト版について、全戸に配布いたしました。また、計画に示した数値目標については、計画スタート時の状況を把握するため、平成20年度の実績数値を取りまとめ、町ホームページ及び情報提供コーナーに公開したところであります。

今後は、総合計画のメインテーマであります「四季彩のまち・かみふらの 風土に映える暮らしのデザイン」を基本に、掲げた将来像の具現化に向けて、皆様とともに計画的なまちづくりを進めてまいります。

次に、予算説明書についてであります。協働のまちづくりを進めていくための基礎として、町民の皆様には町の事業について、よりわかりやすく説明し、まちづくりの

想いを共有していただけるよう、平成 21 年度の当初予算説明書「知っておきたい今年  
のしごと」を作成し、4 月 25 日の定期発送にあわせて全戸配付したところであり、町  
民の皆様のまちづくりへの参画の一助となるよう期待しているところでもあります。

#### （総務課行政報告【広域行政関係】）

次に、広域行政についてであります。町議会第 1 回定例会において、関連条例議  
案をそれぞれご議決いただき、構成 5 市町村議会の議決と関係書類を添えて 4 つの一  
部事務組合の解散届出書を北海道知事へ提出して 3 月 31 日に解散いたしました。

4 月からは、富良野広域連合として、し尿・生ごみ処理などの衛生事務、公共串内  
牧場事務、消防事務及び学校給食事務の 4 事務を開始したところであり、業務開始に  
伴い 4 月 1 日には広域連合職員の辞令交付が行われたほか、上富良野町に設けられた  
広域連合消防本部前において発足式や記念の五色放水などが行われたところでありま  
す。

#### （総務課行政報告【基地調整関係】）

次に、自衛隊関係であります。4 月には北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会が北海  
道の自衛隊体制維持を求める要請署名を行い、当町においても自衛隊関係団体のご協  
力により、多くの方々から署名が寄せられ、改めてご協力に感謝申し上げます。

これに関連して、5 月に札幌市において全道から約 2 千名が参加し、北海道の自衛  
隊体制維持を求める総決起大会が開催され、当町からも約 70 名が参加しました。

4 月には、上富良野駐屯地の現状規模堅持及び演習場拡張整備の要望を富良野地方  
自衛隊協力会の各首長並びに各議会議長とともに防衛省をはじめ、関係機関、国会議

員に要望してまいりました。

また、5月には恵庭市で開催の北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会の総会に出席し、その後、北部方面総監部、内閣官房長官、防衛省、財務省に対し、先々の要請署名とともに北海道の自衛隊体制維持を求める要望を当協議会役員と行ってまいりました。

自衛隊記念式典関係であります。6月7日には上富良野駐屯地創立54周年記念行事が開催され、式典、観閲行進に引続き、訓練展示が披露され、多くの町民と共に祝ったところであります。

6月14日には第2師団創立59周年記念式典に出席いたしました。

次に、基地対策関係では、5月に上富良野駐屯地、旭川第2師団、北部方面総監、北海道防衛局に対し、町基地対策協議会の周辺整備事業要望を構成団体とともに行いました。

また、5月21日に北海道基地協議会総会が新ひだか町で開催され出席いたしました。

#### (保健福祉課行政報告)

次に、新型インフルエンザ対策についてであります。4月24日に国外での発生後、国においてウィルスの国内侵入を防ぐため、水際対策が取られましたが、本州の広い範囲で感染が発生したところであります。

本町においては、「発熱相談センター」について防災無線により、4月に1回、5月に2回、町民に対する周知を行っております。さらに、富良野保健所の対策会議を経て、5月1日及び21日に、感染症予防対策庁内会議を開き、情報の共有を図ると共に、「上富良野町新型インフルエンザ対応マニュアル」を策定してきたところであります。

現在は、沈静化に向かっていることから、国段階において対処方針が緩和されてきておりますが、今後道内での感染の拡大も懸念されることから、正しい知識をもって対応していただくことができるよう、適切な情報の提供に努めてまいります。

#### （町民生活課行政報告【自治推進班関係】）

次に、自治基本条例についてであります。協働のまちづくりの実践に向けて、本年度はまず町民、議会及び町による「協働のまちづくり推進準備委員会」を6月下旬に設置し、来年3月を目標に「協働のまちづくり基本指針（仮称）」素案の作成を進める予定であります。また、併せて「協働のまちづくりと町民参画に関する行動指針（仮称）」策定に向けて町職員による庁内検討委員会を設置し、6月4日第1回目を開催したところであります。

#### （町民生活課行政報告【税務班関係】）

次に、平成20年度の町税等の徴収状況であります。管理職全員による滞納プロジェクト1回の臨戸訪問徴収により、町税117万5千円、上下水道料23万6千円徴収いたしました。また、昨年10月に上川支庁管内市町村合同窓口が開設され、旭川市内及び旭川市近郊の滞納者45名に対し、催告書及び呼出状を発送するとともに、上川支庁との合同呼出に参加し、32万9千円を収納いたしました。さらに、預金調査380件の滞納者に対する財産調査等を実施して、延べ20件の差押えを執行し、82万4千円の換価収納をいたしました。

また、一昨年からは開始している24時間納税可能なコンビニ収納については、6千539件1億679万3千円と大幅に増加しております。

さらに、一昨年からは施行しました行政サービス制限条例により制限措置対象サービ

ス受給者の納期内納税の意識も高まってきており、様々な収納対策を講じて、税収の確保に努力しているところであります。

5月末現在の滞納繰越税額は、町税で2千222万7千円、国保税で3千802万6千円となっており、前年対比では町税で470万1千円、国保税で248万9千円の増加となり、昨年秋以降の景気の悪化に伴い未納となる事案が増えている状況にありますが、今後も収納率向上に向けて適切な対応に努めてまいります。

### （町民生活課行政報告【生活環境班関係】）

次に、合併浄化槽設置事業であります。本年度の計画設置数5人槽20基分の予算措置に対しまして、対象者557名の方々に設置希望調査を行なったところ15件の希望がありました。申請書を審査のうえ、希望のありました新築2件、一般改築13件の全ての申請に対し設置を決定したところであります。

次に、クリーンセンターのダイオキシン類測定結果についてであります。4月に1回目の測定を行った結果、A系が0.00035ナノグラム・B系は0.0000032ナノグラムでありましたのでご報告をいたします。

今後につきましても管理運営に対し万全を期して参りたいと考えております。

次に、ごみクリーン作戦についてであります。5月10日 日曜日に、「シーニックバイウェイ北海道 富良野・大雪ルート 237花倶楽部」の主催により、「ゴミゼロキャンペーン」かみふらのクリーン作戦が実施され、上富良野町を含む14の機関・団体・企業から120名が参加し、国道237号線沿線と道々各路線の市外地部分の清掃活動が行なわれました。町では、この活動に対して、収集運搬車両の出動により支援いたしました。

また、5月13日には、自衛隊上富良野駐屯地30名により、演習場へつながる町道

の翁道路と倍本道路などのクリーン作戦が実施されました。

その他、住民会などの自治組織や地域団体、事業所などでも清掃活動が行われていますが、心ない通行者によりポイ捨てされたゴミが大半であり、美化意識とモラルの向上を願うところです。

#### （産業振興課行政報告【農業振興班関係】）

次に、農業関係であります。今年の融雪は昨年に比べ若干遅かったものの、平年との比較では平地で9日、山間地で7日早く推移し、春耕期を迎えた4月に入ってから平均気温が平年を上回る日が続き、降雨量についても平年より15mmほど少なく、耕起作業は平年よりも7日程度早まったところであります。

しかしながら、4月下旬には、平年に比べてかなり低温の日が続き、最低気温が氷点下となる日が8日間ございました。

5月に入ってから気温の変動が激しく、上旬は真夏日を記録する日もあれば、中旬には数日間の低温があり、一部の作物に被害が見られました。

結果として、水稲においては、4月上旬から5月中旬までの育苗期間中の気温変化が激しく、育苗管理に苦勞が多い状況でしたが、苗の生育も順調に経過し、移植始めは1日程度早く、その後も作業は順調に推移し、移植終りについては風雨の影響も少なかったため平年より3日程度早くなっています。

また、野菜関係では、5月15日から16日にかけての降霜被害によって、町内のアスパラガス作付け農業者の32戸、面積にして1.5ha、被害額が385万4千円の農業被害が発生いたしました。被害に遭われた方々に対し心よりお見舞い申し上げます。



それ以外では、ビートにおいて移植後の旱魃により一部苗が枯れるなど影響があり、また少雨による影響として、スイートコーンなどの露地作物で一部発芽不良、秋蒔小麦の莖数不足が見られましたが、全体としては、萌芽、生育とも順調に推移しています。

今後においては、順調な天候により良い出来秋を迎える事ができるよう願っているところであります。

次に、地域の魅力の再認識や地元農産物への理解を深めていただく新たな取り組みとして、今年度より「ビールオーナー制度」が開始されました。これはオーナーの方々への製品の提供をはじめ、ビール大麦の播種や収穫、醸造工場の見学など、ビールができるまでの過程を体験いただくもので、現在までにビール大麦の播種と醸造工場の見学が行われました。

現在のところ、「水田農業推進協議会」及び「JAビール大麦部会」が中心となり、町をはじめ、サッポロビールホップ会や消費者協会、商工会、観光協会などの関係団体も支援・協力するかたちで参加し、取り組みを進めております。

7月11日には、上富良野産原料100%によるプレミアムビールのビアガーデン事業も予定されており、生産者と消費者の協働活動や産業間連携によるこれらの取り組みに対して、さらなる内容の充実・拡大に大きな期待を寄せているところです。

#### （産業振興課行政報告【商工観光班関係】）

次に、観光関係についてであります。今年もJR富良野線において「ノロッコ号」の運行が開始され、運行初日の6月6日、旭川駅ホームで行われました出発式に出席してまいりました。

昨年「ノロッコ号」の運行開始に合わせまして、地産地消推進協議会が中心と

なり「上富良野産豚肉」「紫苑米(ほしのゆめ)」「地場産野菜」など、地元食材にこだわった駅弁を製造し、上富良野駅ホームにおいて販売事業を展開しているところですが、本年におきましても上富良野町商工会をはじめ、商業事業者みなさんが連携し、販売事業の展開をいただいているところです。

また、本年は、この事業が「地場産品の消費拡大及び地域の活性化」につながるものとして、「地域貢献活動」の位置付けの下、旭川信用金庫のみなさんが、新たに事業参加をされております。販売初日の6月6日、早速、上富良野支店のみなさんが販売事業に参加され、当日は60食の販売となったところであり、この取り組みに対しまして敬意を表するとともに感謝を申し上げる次第です。

今後においてもこの取り組みが、地場産品の普及と地域の振興につながればと期待する次第です。

### (建設水道課行政報告)

次に、建設産業安全大会の開催についてであります。5月8日に保健福祉総合センターにおいて、上富良野建設業協会と上富良野町商工会工業部会主催による「建設産業安全大会」が140名の参加者によって開催され、地域・職場からの交通事故と労働災害の撲滅を、決意宣言により誓い合ったところであります。

次に、日の出公園整備計画についてであります。これまで日の出公園を会場にして、隣接した借地による臨時駐車場も使用させていただき、花と炎の四季彩祭り、雪まつりなどの様々なイベントが行われてきましたが、昨年9月に、この臨時駐車場の借地が解消され農地に復元されたことを契機として、機能再生をめざした日の出公園整備計画の策定を行うこととし、町広報や団体等説明会により町民からのご意見や提案を募集したところであります。

その結果、11名の方から貴重なご意見が寄せられ、その意見を参考とし、町においては、従来の駐車場やイベント会場としての機能を、日の出公園が継承すべきと判断した上で、公園拡張用地としての取得を計画したところでありますが、5月25日開催の臨時町議会での議決結果を受けて、計画を見直し、検証を行うとともに、総合的な判断を加え、用地拡張計画を除く魅力再生整備計画については、予定どおり推進していくことといたしました。

このため、新たな駐車場機能の確保が困難になることから、取り急ぎ関係者に、日の出公園で行ってきた旧来の各種イベント・利活用について、その実施計画の早急な見直し等必要な検討をしていただくよう連絡したところであります。

なお、ラベンダーシーズンにおける日の出公園の臨時駐車場についての対応であります。東町5丁目の「日の出官舎跡地」を候補地として北海道防衛局に打診したところ、使用の内諾を得ましたので、現在、使用許可に係る手続きを進めているところであります。また、並行して観光協会・商工会・振興公社などの関係団体及び「四季彩まつり運営委員会」と協議を行ない、準備・調整を進めております。

臨時駐車場については、開設期間を7月11日（土曜日）から「四季彩まつり」当日の7月26日までの16日間を予定し、駐車場として使用に耐え得る程度に整地整備を行い、約1万<sup>2</sup>m<sup>2</sup>の敷地に300台程度の駐車区画を設ける予定であります。

また、臨時駐車場から日の出公園までの動線の確保については、オートキャンプ場の南端 約300mを歩行者通路として利用できるよう準備を進めるとともに、臨時駐車場開設期間中の土曜・日曜・祝日の7日間については、日の出公園までのシャトルバスを運行することで、関係団体と協議を進めているところであります。

この臨時駐車場の開設及び運営に係る安全確保・警備・通行誘導等につきましては、四季彩まつり運営委員会及び関係団体と充分協議を図りながら、万全を期して対応して参りたいと考えております。

次に、花と緑のまちづくりについてであります。花のまちづくり活動としては、5月19日に西富友愛会が福祉センター前通りにラベンダー苗を植栽していただきました。

5月27日には、まちづくり委員会が駅前広場の花壇づくりを、また同じ27日に、東明ひまわり老人会が道々吹上上富良野線からオートキャンプ場間の東2線道路の植樹マスの植栽を行いました。

5月31日には、商工会商業部会が、道々の栄町金星橋から上富良野中学校交差点までの1.8kmを、花人街道まちづくり協議会では、国道の深山峠地区と草分地区の延長3.8kmを分担し、植樹マスの植栽とプランター設置を行いました。

また、占冠村において5月22・23日の2日間で開催された第5回日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議(太平洋・島サミット)を記念して行われた交流プログラムに、本町から上富良野西小学校の5・6年生16人が参加し、クック諸島とバヌアツ共和国の首脳との交流を行ったことから、その記念として記念植樹用のクリーンラーチの苗2本が配布され、5月27日に島津公園において、小雨の中ながら、西小学校代表者2名による記念植樹が行われました。

これらのほかにも、町内の随所において町並み美化活動が行われておりますが、各地で植栽された花々は、秋口まで通行者の目をなごませるよう、水やり、草取りなどのボランティア作業が続くことになり、協働のまちづくりの実践を象徴する、皆様の有意義で貴重なボランティア活動に敬意を表するところであります。

### (町立病院行政報告)

次に、町立病院の運営関係についてであります。20年度決算の概況は町補助金を当初予算より約1,440万円の縮減を図った上で、約500万円の黒字を計上したとこ

るであります。その主な要因は、収益では昨年12月に開設した老人保健施設がほぼ満床で推移しており、前年度とは単純比較はできないものの入院・入所者数は、前年より延べ900人ほど増加し、その結果入院収益は約2千万円の増となりました。一方、費用では収益の増に伴う材料費の増、また、看護職や臨床検査技師の採用による給与費の増、さらには給食業務委託が通年計上となるなどの増加要因もありましたが、黒字決算となったところであります。

また、国の公立病院改革ガイドラインに基づき、策定作業を進めておりました「上富良野町立病院改革プラン」につきましては、北海道との協議を経て、本年度から平成23年度までの3カ年計画として本年3月末に策定を終えております。

今後とも、地域医療を守るため努力してまいります。

#### （教育振興課行政報告）

次に、上富良野高等学校の存続についてであります。これまで、北海道教育委員会が公表した「新たな高校教育に関する指針」に対して、将来とも上富良野高校を存続していくために、要望運動や署名活動を展開してきたところであります。

しかしながら本年度の入学者数は23名であり、昨年に引き続き、再編の対象となることが懸念される状況から、地元事情を訴えるため、4月23日と6月4日に教育委員会とともに、北海道教育委員会教育長をはじめ所管部局を訪問し、上富良野高等学校の存続に向けての要請を行ってまいりました。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に建設工事の発注状況についてですが、本年度入札執行した建設工事は、6月9日現在、件数で7件、事業費総額で2億6千428万5千円となっております。また、本年度発注予定の建設工事は30件で、その情報については、4月1日付で公表したところであります。

なお、お手元に配付しました「平成21年度建設工事発注状況」については、平成20年度国の第2次補正予算に基づく生活対策臨時交付金等を財源として、20年度末に入札執行した事案等を含めて記載しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。